

岡山県の保育所の歴史

——— 保育所の発生と明治、大正期に於ける保育所の実態 ———

岡山市 高島第一保育園 流 王 農

岡山県社会福祉の歴史的環境

和氣氏一門に於ける教化救済の事蹟、中でも清麻呂の姉広虫の育児事業は広虫を以て嚆矢とする。

寛政年間、美作国吉野郡に於ける代官塩谷大四郎の兒子教育を始め、各藩が育児の奨励、捨子の養育などに意を注ぐなど、岡山県にはすばらしい歴史的伝統と、慈善救済の風土、環境が自然に備っていたと言える。

明治期には、石井十次、岡山孤児院の創設、留岡幸助は、東京に家庭学級を創設し不良少年の感化事業、山室軍平は、明治28年日本救世軍に身を投じ、以来40年間に亘り伝道 アダムス・スミス女史 明治24年に宣教師とし岡山に来住し、岡山博愛会の総称のもとに各種社会事業に活躍し、岡山県における保育事業発生の端緒となる。大正に入り笠井信一岡山県知事は、大正6年5月済世顧問制度を創設し、この制度が今日の民生委員制度の発端になったと言われ、明治、大正期に於いて、岡山県は、日本はもとより、世界的偉大な社会事業家を輩出しているが、本県には社会事業家が育つ、自然的、歴史的環境であったと言える。

岡山県の保育所の発生

本県に於ける託児所設置の歴史は、近代的色彩を帯びたものについて見れば、文久2年に遡り得る。即ち同年早魃のため備前藩主より溜池構築の費を給せられ、児島郡八浜村（玉野市八浜）に於て金甲山の麓に猪窪池を築くため、毎日一日農民男女100名の労役を用いることとなり、出夫する者の子どもを預る必要に迫られた。この時同村の名主野田久左衛門は自費にて自宅の下男下女をして、八幡宮の境内に臨時託児所を設けしめ、これ等の子どもを預からせたのである。工事期間は5ヶ月に亘り、水面6反歩、水深18尺程の池を完成した。これが記録に見える岡山県の保育所の始りではなかろうか。

明治となって、同年17年、岡山師範学校に幼稚園の新設あり、保母として東京師範学校卒業の榎本常が来岡し保育の業を開始した。

保育所設置の記録には、明治18年川上郡成羽町で済世会保育所が創立された事が記録されているが、幼稚園としてか保育所として設立されたのか明らかでない。

明治年代の岡山県の幼稚園

公立幼稚園 19園、私立幼稚園 5園で全国第5位である。幼稚園は教育的効果を目的としたものが多く全面的に生活保護に根ざしたものは稀であったと思われる。

幼稚園設立数

明治時代	17	18	19	20	21	23	29	33	35	38	39	40	44	計	
設置数	1	1	1	4	2	1	1	1	1	3	1	1	2	20	
大正	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
設置数	1	3	0	0	0	1	3	0	1	3	2	4	5	9	32

明治末期の全国各府県の幼稚園数

東京府72園 大阪府41園 兵庫県24園 京都府22園
岡山県20園 静岡県16園 香川県12園 大分県11園

明治に設立された保育所

(1) 日露戦争と保育所

軍人家族の生計扶助を積極的にすすめるためには、その子どもを預る保育所が是非必要な事で、保育所が時代の要請として強く叫ばれ、岡山市は勿論県下各地方に広く設置された。

設置の状況

施設名	所在地	開設年月日	収容児童数	備考
愛国婦人会岡山支部幼児保育所	石岡町番公園	M. 38. 4. 11	50	
同上	天瀬町工場内	M. 38. 8. 28		
和気郡幹事部幼児保育所	不詳		19	
邑久郡牛窓町幼児保育所	不詳			
児島郡軍人遺家族幼児保育所	福岡村林	M. 38. 9.	19	
都窪郡倉敷町軍人遺家族幼児保育所	不詳		8	
都窪郡撫川町軍人遺家族幼児保育所	不詳		10	予算542円
都窪郡妹尾町軍人遺家族幼児保育所	不詳		15	予算636円
小田郡笠岡婦人会幼児保育所	不詳		12	
上房郡軍人遺家族幼児保育所	不詳			
阿哲郡軍人遺家族幼児保育所	不詳			
真庭郡軍人遺家族幼児保育所	不詳		97	予算502円
苫田郡軍人遺家族幼児保育所	不詳		20	予算1,641円
英田郡軍人遺家族幼児保育所	不詳		8	他50名委託 予算548円
勝田郡軍人遺家族幼児保育所	不詳		9	
久米郡軍人遺家族幼児保育所	不詳			

以上戦時保育所のその後の状態については資料に欠けているが、中には戦後形を変え継続された例もある。その一例として児島郡福田村に設立された幼児保育所は名称を変え明治40年4月より郷内婦人会の経営に移され、大正8、9年頃まで事業が続けられた。

(2) 岡山博愛会保育園

米国宣教師アダムス女史により、明治39年10月幼稚園として開設されたが、明治43年10月保育園と改称され、岡山県に常設保育園の誕生第1号と言える。

(3) 鐘紡岡山工場保育所

工場労働の発達に伴う女性労働力確保の必要から工場その他の機関が主体となって、企業内に託児所が設立されるようになり、鐘紡岡山工場では、明治45年5月鐘紡岡山工場保育所として創立され、岡山県下企業内保育の第1号で、事業の概要も満1才より満5才までの幼児、受託保育料無料、午前6時より午後6時までとなっている。

大正期の保育所

常設保育所、明治末期の博愛会保育園、又鐘紡岡山工場保育所設置に誘発される事が多かったと思われるが、大正期には経済変動による社会不安が高まり、特に大正7年の米騒動に象徴されているように、其の状況は深刻であった。政府はかかる事態に対処するため、社会政策としての防貧策をおしすすめざるを得なかった。

岡山県における貧民の状態につき、大正5年5月、大正天皇より笠井信一岡山県知事に御下問され、知事は実情を報告された。この実情に基き、貧民救済のために笠井信一知事は自からの起草により、大正6年5月12日に県から訓令されたのが「済世顧問の設置」である。岡山県はこの制度を制定しその第一事業として、母性乳幼児保護事業を取り上げたが、当時一般の人々の理解や関心が薄く、県の係員、済世顧問の人達の強力な指導の強さを見逃す事は出来ない。

1. 常設保育所

常設保育園一覧表

施設名	所在地	創立年月日	施設名	所在地	創立年月日
岡山博愛会	岡山市花畑	明 39.6	木 山	真庭郡落合町	大 13.4
坂 本	川上郡吹屋町	大 3.4	第 一	岡山市津島	大 13.9
島 取 上	赤磐郡赤坂町	大 4.4	若 竹 の 園	倉敷市前神町	大 14.3
邑久隣保協会	邑久郡邑久村	大 5.4	あさひ託児所	岡山市下内田町	大 14.10
日 の 丸	倉敷市北浜町	大 6.4	南 野	岡山市中仙道	大 14.4
二葉学園	津山市林田	大 10.2	嫩 葉 園	吉備郡総社町	大 14.5
ルンビニー学園	児島郡甲浦村	大 11.4	高 梁 愛 隣 館	上房郡高梁町	大 15.4
外 浦	笠岡市神島	大 11.4	香 登	備前市香登	大 15.4
瀬 戸 桜	赤磐郡瀬戸町	大 12.4	玉 井	赤磐郡瀬戸町	大 15.
甲 北	児島郡甲浦村	大 12.5	瓦 町 託 児 所	岡山市瓦町	大 14.
西大児愛児園	岡山市西大寺	大 13.4			

常設保育所設立数（年度別）

年度	明治 39	大 正	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
設置数	1	設置数	1	1	1	1	0	0	0	1	2	2	3	4	3	19

岡山県明治、大正年代設立された保育園20ヶ園、大正前半に当る大正6年まで僅か5ヶ園であったが大正10年～15年に15ヶ園設置された。保育所設置に当っては、社会状況に対応して、県当局の指導の強さを見逃すことはできない。

○大正期保育所設置事例

大正期に於ける保育所設置事情を具体的に知るため(1)瀬戸桜保育園の設立

大正後半期農村が疲弊し地主、小作の紛争があとを絶たなく、副業奨励のため農家に対し果樹園芸を奨励した。社会事業家三宅左一は園芸知識の普及のため大正12年4月、園芸学校を設立し、保育園を付設し農業労働のため手足まといになる子どもを收容、保育しようとし、大正15年園芸学校が瀬戸町外4ヶ村の組合立に移管したため、専心保育園と幼稚園の経営を行ったが、一般世人の幼児教育の認識が乏しく困難を極めたが、保育園の分園を各地に設け、託児を便利にし、4ツの公会堂、個人邸、学校という具合に設置された。6分園の設置場所又は設置した年月が定かでないため常設保育園一覧表にはのっていない。

○若竹の園の設立

大正9年倉敷の婦人有志によって、倉敷さつき会が結成され、大正11年5月の同総会で乳幼児保育事業の事が決められ、倉敷紡績工場の一部の建物を借りて、

大正14年2月設立された。

2. 季節保育所

農繁託児の事業は、大正14年岡山県社会事業協会においてその設置を奨励し、補助金を交付したのを公的奨励設置の最初とするが、大正15年以降は毎年県に於て補助奨励費の予算を計上し、補助金を交付して奨励に努むるようになった。

爾来地方に於ても次第に理解が深まり、当施設開設期に於て、市町村吏員は勿論、社会事業団体、婦人会、女子青年団、小学校教員等総動員の状態で経営に従事するに至り、事業成績があがった。

大正15年は経営主体31、開設場所80、延人員15,871人、決算額2,592円、補助金1,308円

季節保育所は、昭和20年代まで続き、常設保育所設置につながる糸口となった。

3. 企業内保育所

明治45年5月鐘紡岡山工場保育所の開設に伴い、大正年代に4ヶ所に、工場労働特に女性労働力確保のため工場側が主体となって保育所が設置された。

企業内保育園一覧表

施設名	所在地	創立年月日	事 業 概 要
鐘 紡 岡 山 工場保育所	岡山市花畑	明治 45.5	満1才より満5才までの幼児受託保育料 無料。午前6時より午後6時まで、昼食給せず。
鐘 紡 備 前 工場保育所	岡山市下石井	大正 3.10.29	生後3ヶ月から4才までの幼児 午前6時から午後5時まで及び午後6時より午前5時まで 保育料1日2銭（間食代）
倉 紡 早 島 工場託児所	都窪郡早島町	大正 10.1.1	幼児保育園保育料 1日拾銭 食事を給す
倉紡岡山北方工場託児所	岡山市北方	大正 14.1.1	乳幼児受託午前6時30分より午後5時30分まで及び午後6時より午前5時まで 保育料1回20銭間食の外一食を給す
岡山地方専売局保育園	岡山市下石井	大正 14.5.1	満1才より学齢までの幼児。午前7時より午後5時まで 保育料 無料 間食料 1日3銭

4. 学童保育

紡績工場労働者の子女の学校の放課後に於ける保護施設として大正9年7月に設けられた倉敷万寿工場学童預り所が開設されている。

5. 児童愛護デー

児童保護に関する一般の理解は極めて低級なもので、愛護思想の普及宣伝を目的に岡山県が中心となって、大正11年5月20日、21日の両日、県市社会課の斡旋尽力により、岡山児童学会、岡山県社会事業協会、愛国婦人会岡山支部、吉備保育会、県市教育会が中心となり、山陽、中国、岡山の各新聞社後援の下に本県最初の児童愛護デーが挙行され、爾後年々継続して開催された本事業により児童愛護の精神が通俗化、一般化され、母性並に児童保護上身心両方面に顕著な成績を挙ぐるきっかけとなった。

6. まとめ

成羽町済世会保育園が明治18年創立後一時閉せたが、昭和9年1月常設託児所として改組しているが、幼稚園創立にも見えず、保育所の発生を見れば、岡山県の岡山博愛会保育園設置されるより20年前に保育所の発生となる。記録が明らかでないが、成羽町済世会保育の設立の状況を今一度明らかにしなければならない課題であるが、本調査の資料が少く、守屋茂著書に負うところ多く、又守屋茂先生とも今年1月にお会いしお話しする機会を得て参考にし本論文をまとめた。